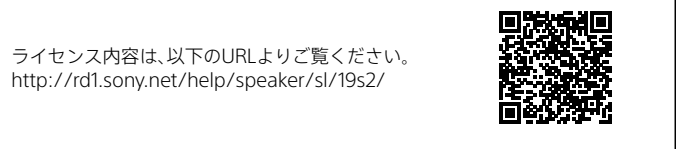


- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービ名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。 なお、本文中では[®]、[™]マークは明記していません。

本機は、無線LAN機能はIEEE 802.11a/b/g/n、Bluetooth機能はBluetooth 4.2、FMラジオ機能はFMラジオ機能付です。

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。



ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
http://rd1.sony.net/help/speaker/sl/19s2/

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ
本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様には、添付のGPL/LGPLの条件にしたがい、これらソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名「LSPX-S2」をお選びください。

URL: http://oss.sony.net/Products/Linux

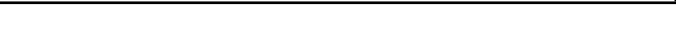
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

アップデートに関する注意

本機は、無線LANでインターネットに接続してご使用になる場合、ソフトウェアを、自動で最新にアップデート(更新)する機能を有しています。アップデートすることで、新しい機能が追加されたり、より便利かつ安定してご使用になることができます。ソフトウェアを自動でアップデートさせたくない場合は、スマートフォン／iPhoneにインストールした“Sony | Music Center”を使って、本機能を無効にすることができます。ただし、本機能を無効にしても、安定してご使用いただくため等により、ソフトウェアを自動でアップデートすることがあります。また、本機能を無効にしても、お客様の操作で、システムソフトウェアをアップデートすることは可能です。詳しい設定方法、操作方法は、ヘルプガイドでご確認ください。ソフトウェアアップデート中は、本機をご使用いただけない場合があります。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。



プライバシーポリシーについて
“Sony Music Center”を使用して製品の使用状況等に関する情報収集にご同意いただいたお客様へ ご同意いただいたプライバシーポリシーは、こちらからご確認ください。 http://policies.sony.net/vs/01/index.html 一度ご同意いただいた場合でも、お客様が“Sony Music Center”の設定メニュー *上で情報収集を拒否された場合、または、本機を初期化された場合、弊社は情報収集を中止いたします。(本機の初期化については、取扱説明書の「本機を初期化する」をご覧ください)。
* 2018年11月1日現在、Android版のみ。

ワイヤレス技術について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

無線LAN機能について
本製品内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「WPA/WPA2、Wi-Fi Protected Setup™（WPS）」について認証取得しています。

BLUETOOTH機器について

本機が対応するBLUETOOTHバージョンとプロファイルについては「主な仕様」の「BLUETOOTH部」をご覧ください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については本書をご覧ください。

2.4DS/OF4	この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。
------------------	---

2.4FH/XX8	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は80 mです。
------------------	---

5GHz機器使用上の注意事項													
<table> <tbody><tr> <td>IEEE 802.11a/b/g/n</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>IEEE802.11a/n</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>JS2</td> <td>WS2</td> <td>WS3</td> <td>WS6</td> </tr> </tbody></table>	IEEE 802.11a/b/g/n				IEEE802.11a/n				JS2	WS2	WS3	WS6	<ul style="list-style-type: none">本製品が使用するチャンネルは左の通りです。
IEEE 802.11a/b/g/n													
IEEE802.11a/n													
JS2	WS2	WS3	WS6										

- 5 GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

主な仕様

スピーカー部
使用スピーカー 有機ガラス管型トウイーター、35 mmウーファー
エンクロージャー方式 パッシブラジエーター方式
周波数帯域 60 Hz～40,000 Hz
アンプ部
実用最大出力 ウーファー：11 W（全高調波歪10 %以下、1 kHz、4 Ω）(JEITA*)
出力数 4 CH（トウイーター×3 CH、ウーファー×1 CH)
*1 JEITAは(電子情報技術産業協会)の略称です。
ネットワーク部
通信方式 IEEE 802.11 a/b/g/n
セキュリティ WEP 64 bit、WEP 128 bit、WPA/WPA2 PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP)
使用周波数帯域 2.4 GHz、5 GHz

BLUETOOTH部
出力 BLUETOOTH標準規格Power Class 2
最大通信距離 見通し距離約10 m*2
使用周波数帯域 2.4 GHz 帯(2.4000 GHz～2.4835 GHz)
通信方式 BLUETOOTH標準規格Ver. 4.2
変調方式 FHSS
対応BLUETOOTHプロファイル *3 A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP（Audio Video Remote Control Profile)
対応コーデック *4 SBC*5、AAC*6、LDAC*7
対応コンテンツ保護 SCMS-T方式
伝送帯域(A2DP) 20 Hz～20,000 Hz（44.1 kHz サンプリング時)
*2 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。 *3 BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。 *4 音声圧縮変換方式のこと *5 Subband Codecの略 *6 Advanced Audio Codingの略 *7 LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBLUETOOTH経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。

電源部・その他
入力 AUDIO IN端子(φ3.5 mm ステレオミニジャック)
電源 DC 5 V 1.5 A（付属のUSB ACアダプターを接続してAC100 V～240 V電源から使用）、内蔵リチウムイオン充電電池を使用
消費電力(USB ACアダプター使用時) 約11 W（内蔵電池充電中およびイルミネーション輝度最大時） 約0.2 W（待機時、ネットワークスタンバイ機能オン） 約0.2 W（待機時、ネットワークスタンバイ機能オフ)
内蔵リチウムイオン充電電池の持続時間 BLUETOOTH（SBC）接続時：約8時間*8 ネットワーク接続時：約8時間*8
充電電池充電時間 約5時間*8
使用温度範囲 5℃～35℃
最大外形寸法(最大突起部含む) 約Φ90 mm×277 mm
質量 約1.1 kg（充電電池含む）
付属品 USB ACアダプター (1) マイクロUSBケーブル(1) クリーニングクロス(1) 取扱説明書(1) 使用上のご注意／主な仕様(本書)(1)
*8 周囲の温度や使用状態により、上記の時間と異なる場合があります。

機銘板や重要な情報は本機の底面やUSB ACアダプターの表面に表示してあります。無線LANのMACアドレスは、本機の底面に表示してあります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
--

本機で使用できるiPhone/iPodについて(2018年11月現在)
iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8、iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPod touch (6th generation)
本機につないだiPhone/iPodを使用中に、iPhone/iPodに保存されたデータが消失・破損しても、弊社では一切責任を負いません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
ヘルプガイド(http://rd1.sony.net/help/speaker/lspx-s2/ja/)に記載の「よくある質問」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属のマイクロUSBケーブル、USB ACアダプターを本体と一緒に持ちください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではグラスサウundsスピーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

型名：LSPX-S2	
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページでご活用ください。	https://www.sony.jp/support/
使い方相談窓口	
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・ 0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 050-3754-9577	
修理相談窓口	➡
フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・ 0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 050-3754-9599 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「 3 0 9 」+「 # 」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
FAX(共通) 0120-333-389	

ソニー株式会社	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
---------	------------------------

